この度は、お買上げ下さいまして誠にありがとうございます。

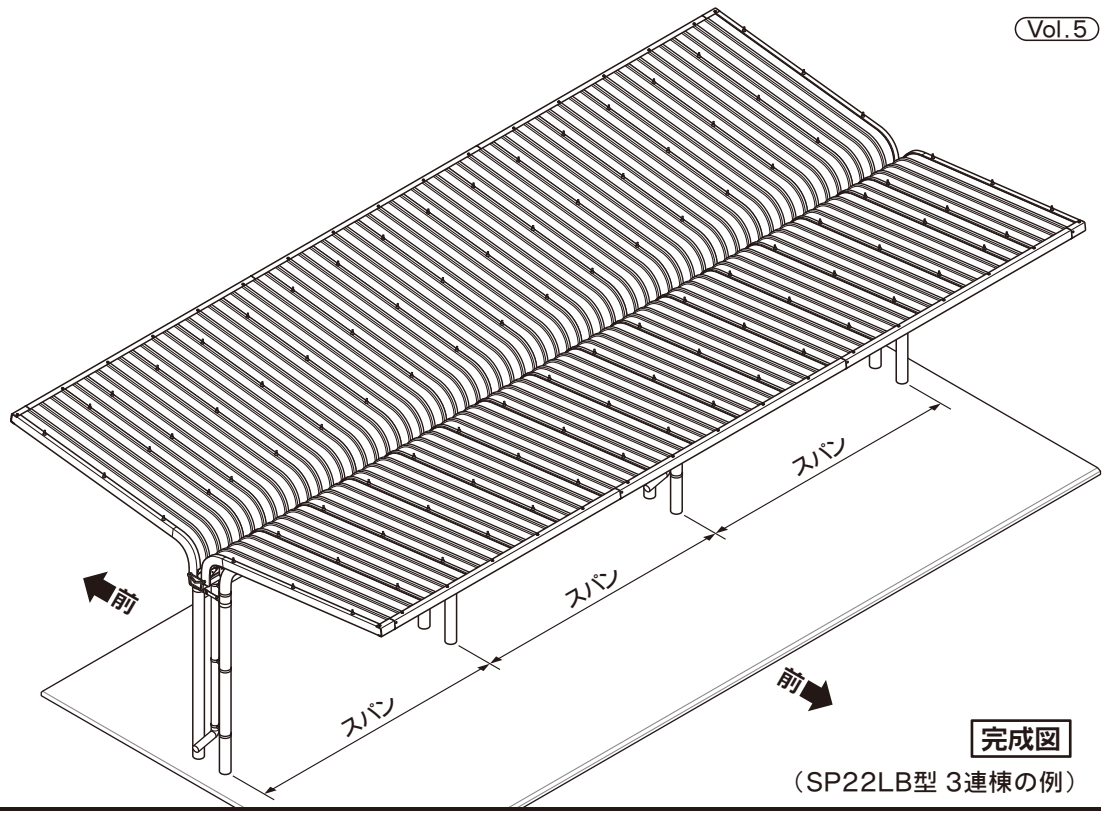
(Vol.5)

TAKUBO タクボ自転車置場

SP20LB	SP20LBH	(スパン2000㎜)
SP21LB	SP21LBH	(スパン2250㎜)
SP22LB	SP22LBH	(スパン2500㎜)
SP23LB	SP23LBH	(スパン2750㎜)

共通　組立説明書

- 組立前に、この組立説明書と別添の取扱説明書・基礎施工図／部品明細を、よく読んで組み立ててください。
  また、これらの説明書は、組立終了後も必ず大切に保管してください。
- この組立説明書は、3連棟(SP22LB-03:スパン2500㎜)について説明していますが、連棟数およびスパンが違っても組立方法は同じです。
- 組立のとき、絶対に自転車置場の上に乗って作業をしないでください。
- 屋根板の固定には、M6ゆるみ止めナットを必ず使用してください。(他の部品は通常のナットです。)
- 別添えの基礎施工図の裏面に、部品明細と軒樋並べ図を掲載しています。
  組立前に部品をご確認ください。



完成図
(SP22LB型 3連棟の例)

〔EC-12-SB2K-00-00〕

❶

【基礎工事】

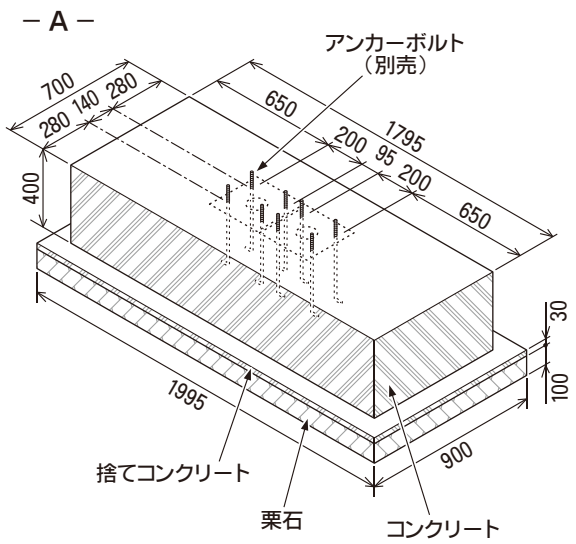
- 基礎は別途施工です。別添の基礎施工図を参照してください。　－A－参照
- 土間施工は、本体の組み立てが終わってから行います。

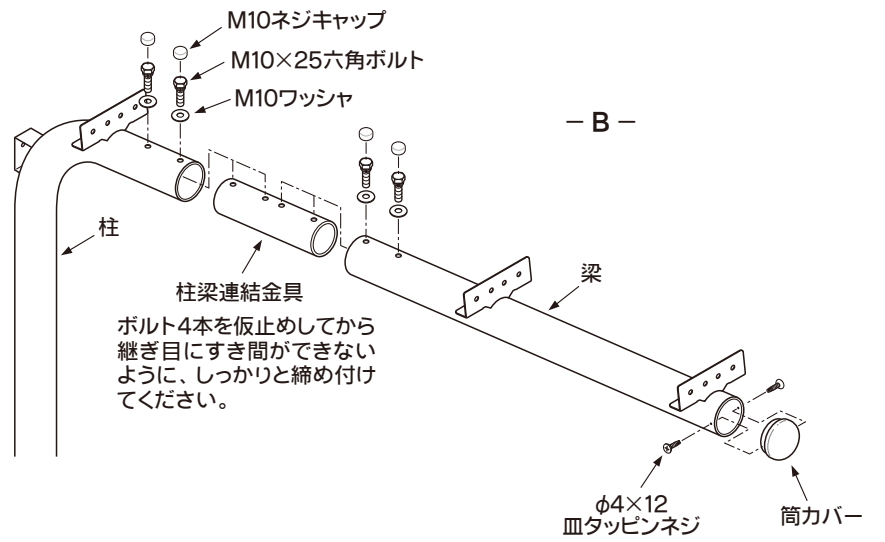
※柱間の寸法やアンカーボルト(別売)の位置決めは、正確に行ってください。
※コンクリートの養生は、十分に行ってください。

【柱と梁の連結】

- 柱と梁を、柱梁連結金具で連結します。　－B－参照
- 梁の先端に筒カバーを取り付けます。　－B－参照

※M10ボルトの頭を、M10ネジキャップでカバーしてください。





❷

【柱立て】

- アンカーボルトに、M12ナットとM12ワッシャを入れ、30㎜の位置でレベルを出します。
- 柱をアンカーボルトに、M12ナットとM12ワッシャで固定します。　－A－参照

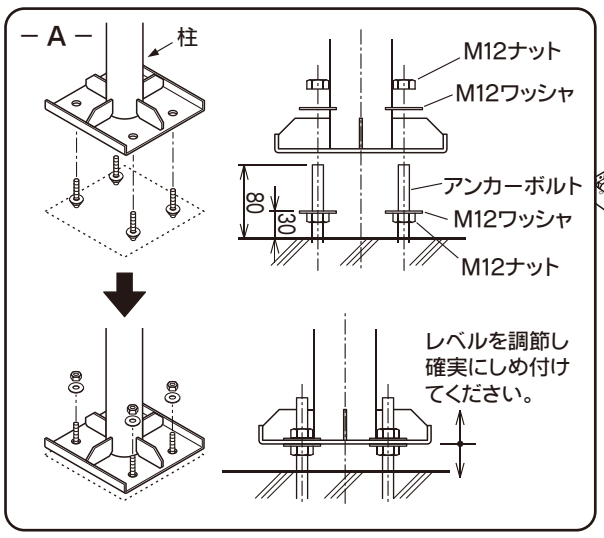
※各部の水平・垂直や、柱間のレベルを確認してください。アンカーボルトのナットで、柱間のレベルを調整してください。

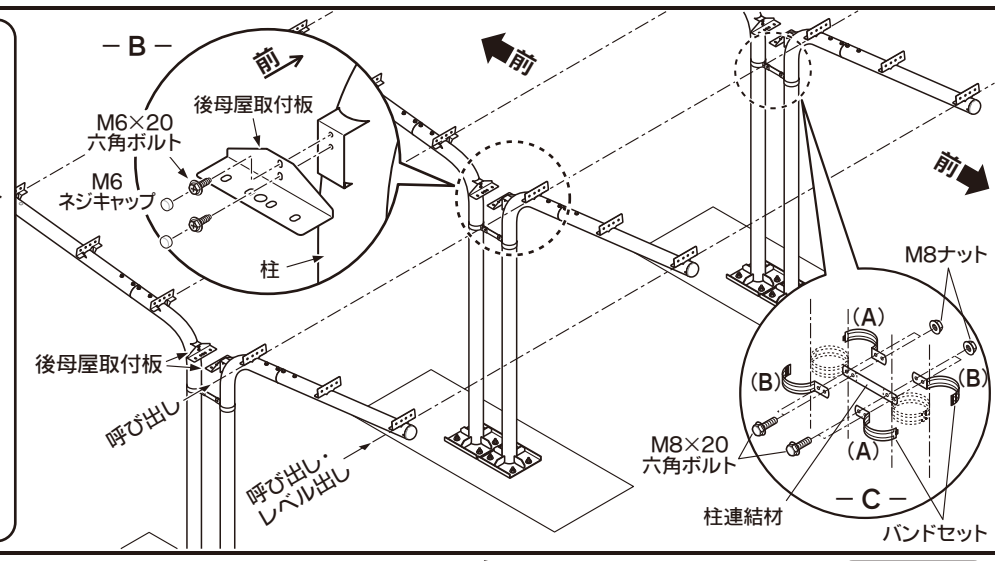
【後母屋取付板の取付】

- 後母屋取付板を、**M6×16六角ボルト**で柱にネジ止めし、ボルトの頭を**M6ネジキャップ**でカバーしてください。　－B－参照

【バンドセットの取付】

- バンドセット(A)・(B)で柱をはさみ、柱連結材 で連結します。　－C－参照





❸

【高ナットの取付】

- **母屋中・端母屋** に、**M6高ナット**を**M6×40六角ボルト**で取り付けてください。　－A－参照
- **端母屋** は、**M6高ナット**の取付位置によって左右一対を**6セット**作ります。　－B－参照
- **M6高ナット**は、左端から500㎜ピッチで取り付けますが、最後の右端が750㎜ピッチになる場合は、**500㎜＋250㎜**ピッチで取り付けます。　－C－参照

高ナットを取り付けるM6×40六角ボルトはきつくしめ付けてください。また、高ナットは母屋を梁にのせる前に取り付けてください。

【母屋の取付】

- **梁** に、**母屋中・端母屋** を**M8×20六角ボルト**と**M8ナット**で取り付けてください。　－D－参照

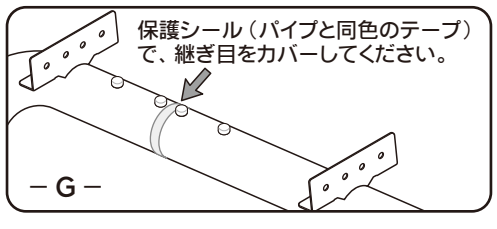
【後母屋の取付】

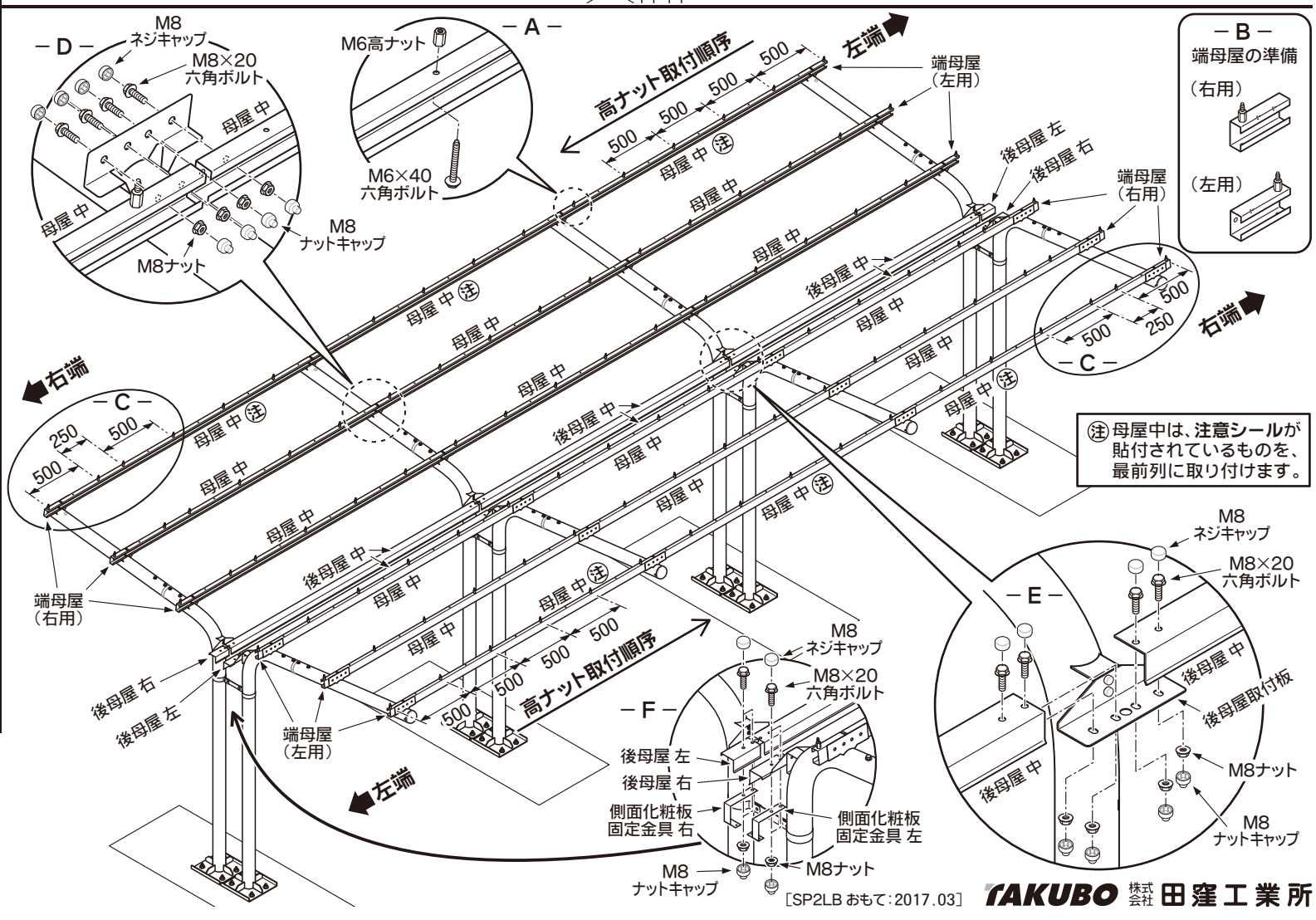
- **後母屋 中・左・右** を**後母屋取付板**に**M8×20六角ボルト**と**M8ナット**で取り付けてください。　－E－参照
- **後母屋 左・右**は、**側面化粧板固定金具** と一緒に取り付けてください。　－F－参照

※M8ボルトの頭とM8ナットを、M8ネジキャップとM8ナットキャップでカバーしてください。

【保護シールの取付】

- 柱と梁の連結部のネジを、しっかり締め付けてから、保護シールで継ぎ目をカバーしてください。　－G－参照





〔SP2LB おもて:2017.03〕

TAKUBO 株式会社 田窪工業所

❹

【屋根板の並べ】

●**屋根板**は、重ね部分に**防水テープ**を貼りながら前から見て、左端より順に並べていきます。
－ A・B － 参照

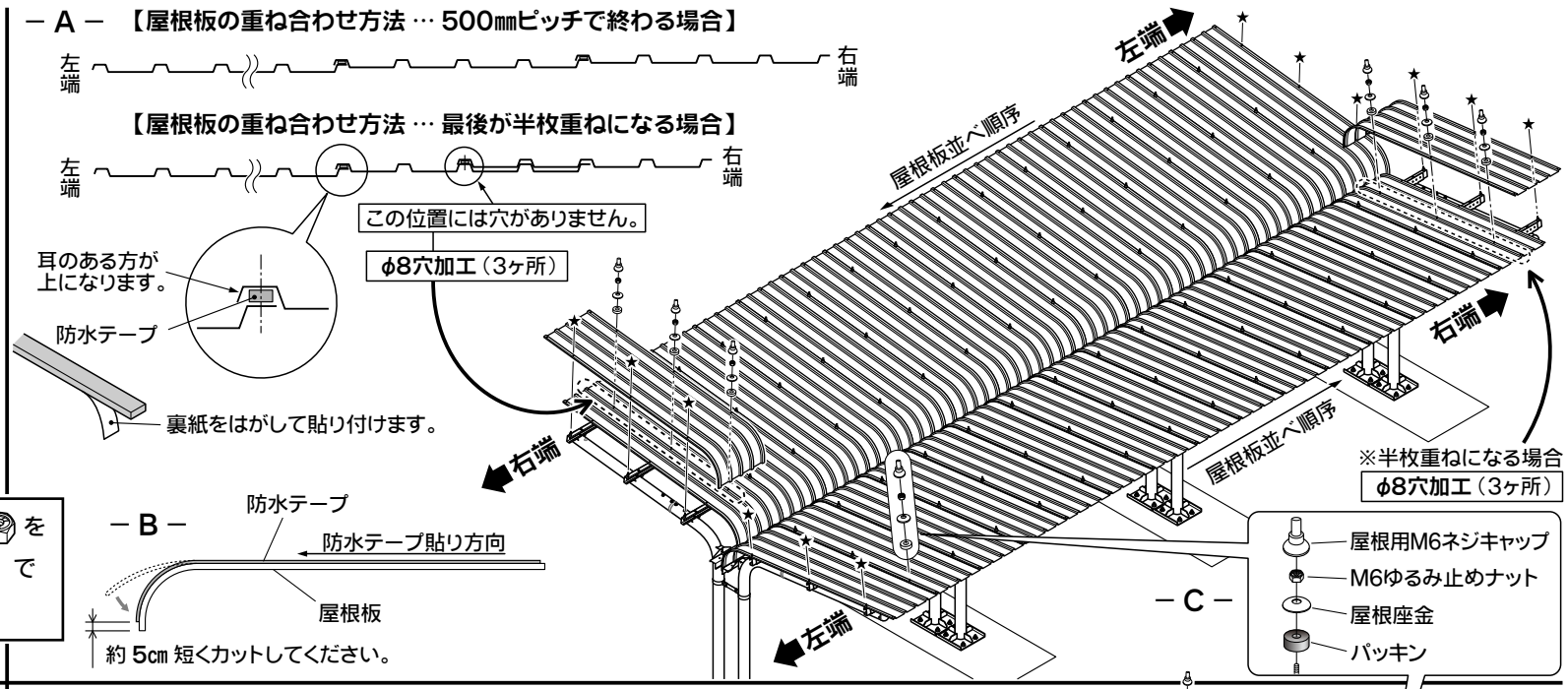
最後が半枚重ねになる場合は、現場でφ8の穴をあけてください。

【屋根板の固定】

●**屋根板**は、**パッキン・屋根座金**と**M6ゆるみ止めナット**で固定し、**屋根用M6ネジキャップ**でカバーしてください。
－ C － 参照

※左右両端の部分（★印）は、後で側面化粧板と一緒に固定しますので、この時点では止め付けないでください。

屋根板の固定には、必ず**ゆるみ止めナット**を使用し、最後に**屋根用M6ネジキャップ**でカバーしてください。



❺

【側面化粧板の取付】

●**側面化粧板左・右** を**屋根板**にかぶせて、**パッキン・屋根座金・M6ゆるみ止めナット**で固定し、**屋根用M6ネジキャップ**でカバーします。
－ A － 参照

●側面化粧板の後側は、側面化粧板固定金具にネジ止めしてください。
－ B － 参照

【前化粧板の取付】

●**前化粧板**を **左・中・右** の順で**M6×20六角ボルト**と**M6ナット**で取り付け、ボルトの頭を**M6ネジキャップ**でカバーしてください。

●左右両端は、**側面化粧板 左・右** に止め付けます。

●**屋根板**には、**M6×20六角ボルト**と**M6ナット**で止め付け、ボルトの頭を**M6ネジキャップ**でカバーしてください。
－ C・D － 参照

【軒樋の取付】

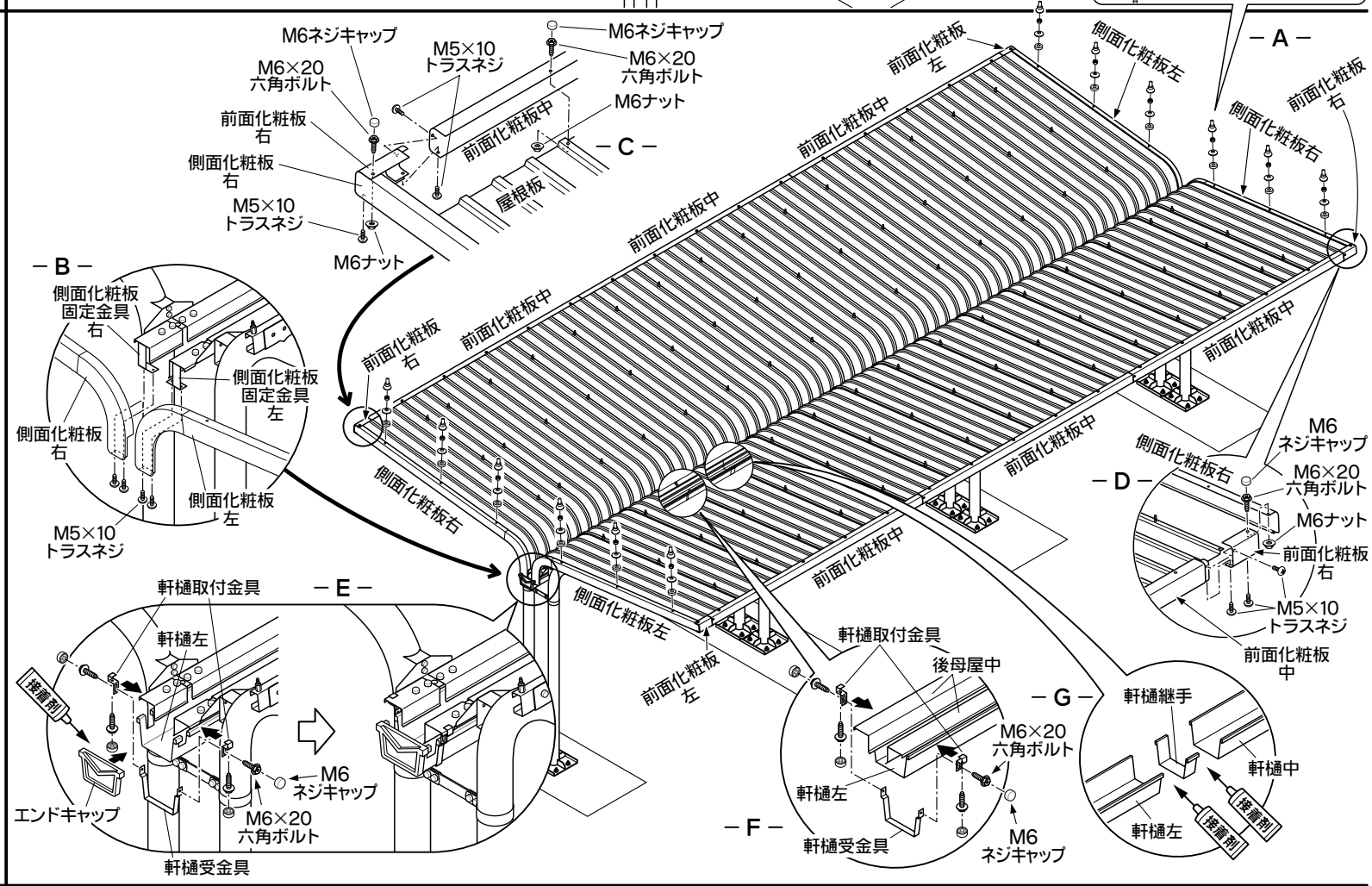
（基礎施工図の裏面もご参照ください。）

●**軒樋**は、軒樋受金具と軒樋取付金具で後母屋に引っかけます。
－ E・F － 参照

●軒樋同士は、軒樋継手で連結します。
－ G － 参照

●軒樋の左右両端は、エンドキャップでふさぎます。
－ E － 参照

軒樋と各軒樋部品は、必ず接着剤で固定してください。 接着剤



❻

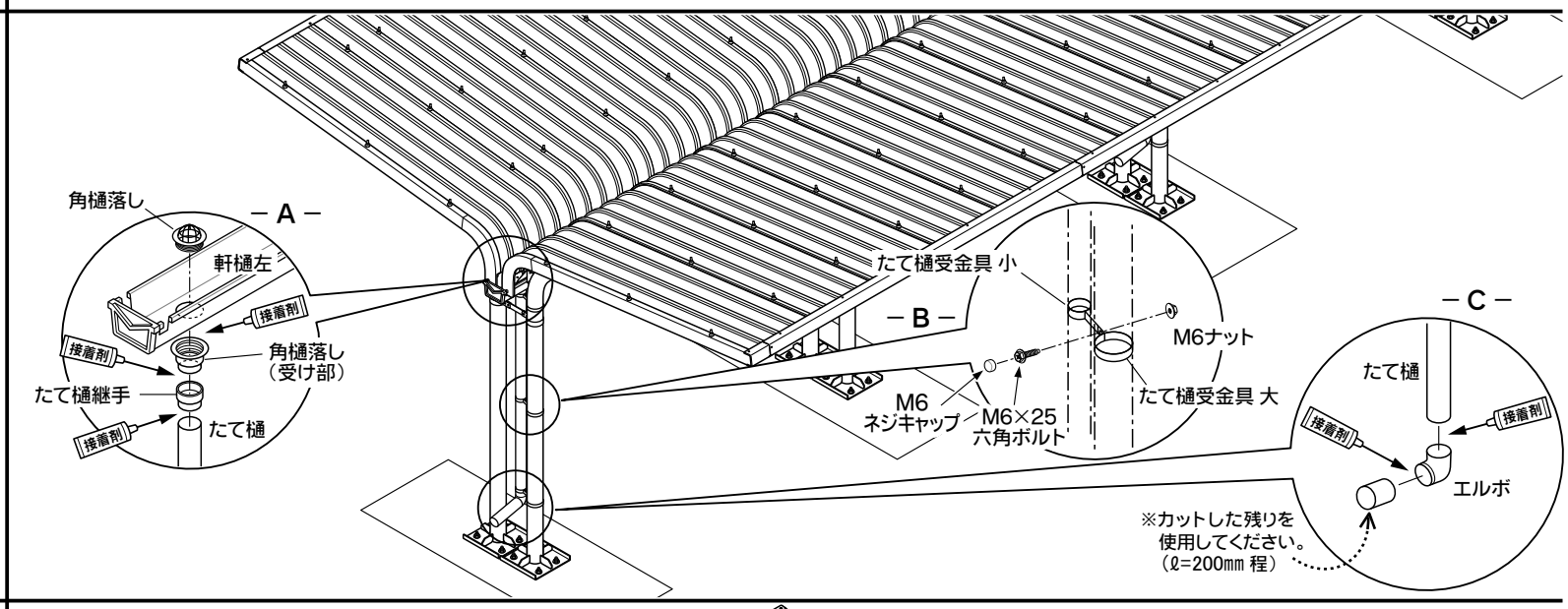
【たて樋の取付】

●**角樋落し**は、**軒樋左**をはさんで**角樋落し（受け部）**に、ねじ込みます。**角樋落し（受け部）**に、**たて樋**と**たて継手**を取り付けます。
－ A － 参照

●**たて樋**を適切な長さにカットし、**たて樋受金具大** と **たて樋受金具小**で、**柱** に取り付けます。
（たて樋１本につき、**3ヶ所**ずつ）
－ B － 参照

●**たて樋**の下部に、**エルボ**とカットした**たて樋**を取り付けます。
－ C － 参照

たて樋と各たて樋部品は、必ず接着剤で固定してください。 接着剤



❼

【ネームプレートの取付】

●組立が終わりましたら、**ネームプレート**（シール）を右図の位置に貼り付けてください。
－ A － 参照

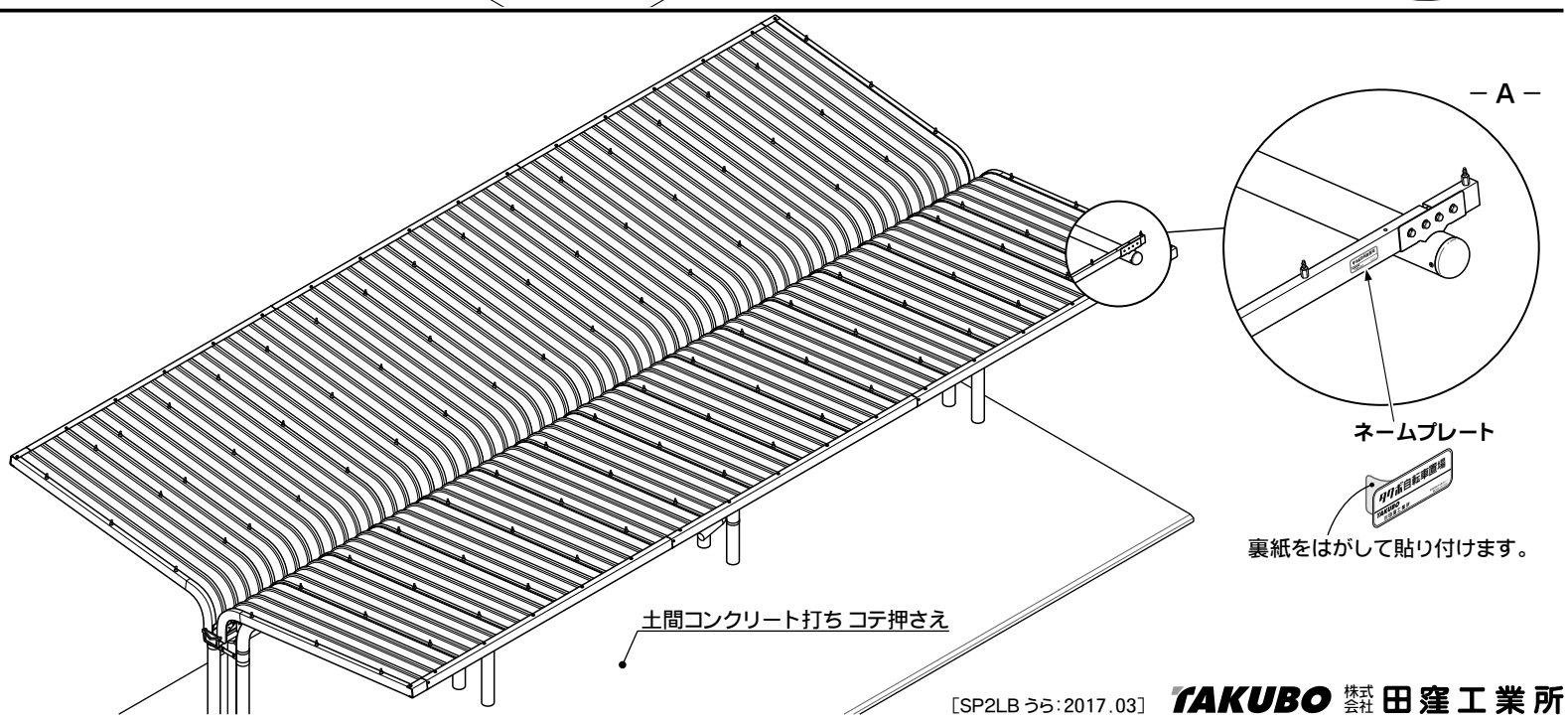
組立が終わりましたら、もう一度各部の水平・垂直を確かめ、ネジをしめ付けてください。

【基礎・土間の施工】

●柱位置の穴に、コンクリートを詰めてください。

●同時に、**土間コンクリート打ち**を行います。

柱の基礎部分は、アンカープレート底面より必ず200㎜以上の厚さになるように、土間コンクリート打ちを行ってください。



［SP2LB うら：2017.03］ TAKUBO 株式会社 田窪工業所